



1 ふれあい活動の充実

組合員・地域の皆さまにとって最も身近なJAの拠点である支店・出張所が中心となり、「地域に必要とされるJA」を目指してふれあい活動を行っています。

地域行事への参加

地域の行事へ積極的に参加し、地域住民の皆さまと交流を深めています。

- 各地区夏祭り
- スポーツフェスタ
- 防火ふれあいフェスタ
- 地区餅つき大会
- 市民文化祭
- ふれあい広場 など



食農教育活動

食と農の大切さを次代へ伝えるため、「JAらしさ」を感じられる食農教育活動に取り組んでいます。

- とうもろこし・さつまいも収穫体験
- 米づくり体験
- 子ども料理教室
- 小学校への野菜苗贈呈
- コップでやさいづくり体験 など



地域貢献活動

地域の一員としてより良い社会を築くことを目的に、「JAにできること」を地域の皆さまと一緒に取り組んでいます。

- 愛校作業への参加
- 地域清掃・交通安全活動への参加
- 防災資材の寄付
- 休耕田のお花畑景観プロジェクト など



イベントの開催

幅広い年代の方が参加できるように、さまざまなイベントを企画・開催しています。

- グラウンドゴルフ大会
- 趣味・文化教室の開催
- スマホ教室
- 相続セミナー
- しめ縄づくり など



2 女性部・青壮年部活動

女性部

フードドライブ活動

家庭に眠っている食べきれない食品を持ち寄り、認定NPO法人を通じて管内の子ども食堂など食材を必要としている団体へ寄付する『フードドライブ』を実施しています。令和5年度は各地区で13回のフードドライブを開催し、計1,399点・941.8kgを寄付しました。



子ども食堂「ちゃぐりん食堂」の開催

近年社会問題になっている「孤食」の子どもたちに食事を提供し、地域との繋がりを深めてもらうことを目的に、子ども食堂を開催しています。この活動は家の光JA女性組織SDGs活動コンテストにて『仲間のSDGs賞』を受賞しました。



青壮年部

稲作体験学習の支援

子どもたちに農業を身近に感じ、興味を持ってもらうことを目的に、各地区の小学校で田植え・稲刈りなどの稲作体験学習を行っています。



3 情報発信の強化

広報誌やSNSを活用した発信

広報誌やInstagram、クックパッドを活用し、食と農に関するさまざまな情報を発信しています。



支店だよりの発行

地域性のある話題や店舗管内の情報を中心に「支店だよりの」「ゆめ畑だよりの」を発行しています。



特集

JA筑紫は

自己改革を實踐中です!

～地域に必要とされるJAに～

JA筑紫は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として自己改革を實踐しています。今後も「地域に必要とされるJA」であり続けるため、持続可能なJA経営基盤の確立・強化とともに組合員の皆さまとの徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組みます。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組み



1 ちくし農業塾の継続開講

「ちくし農業塾」を継続開講し、新規就農者の支援を行っています。修了生は、農産物直売所「ゆめ畑」の出荷者や生産部会の部会員として活躍しています。



2 行政等関係機関との連携による支援

行政等関係機関と連携し、就農希望者の相談や、農業法人などの担い手に対して経営支援を行っています。令和5年度は9件の新規就農者の相談に対応しました。



3 TACによる担い手支援

TAC(担い手対応涉外)を中心に定期訪問を行い、営農相談等の対話を通じて農畜産物の付加価値向上・生産量の拡大に取り組んでいます。

4 土壌診断の実施

土壌診断を実施し、分析結果に基づいた土づくりを行うことで、品質や収量の向上、適正施肥による生産コストの低減、環境負荷の軽減に取り組んでいます。

5 販路の拡大・適正価格での販売推進

県庁や地域のイベント、JA筑紫金融店舗等でゆめ畑出店販売を実施しています。適正価格での販売推進と消費者ニーズに合った出荷を目指し、市場関係者と連携した販売状況の把握に取り組んでいます。



6 消費者ニーズに合った農産物づくり

ゆめ畑出荷者に栽培講習会を開催し、消費者ニーズに対応した作型の提案や直売所向け推奨品種の紹介を行っています。

